

同志社大学アメリカ研究所 第6部門研究公開研究会

表の中立、裏の同盟

—冷戦期におけるスウェーデンの西側軍事
協力からNATO加盟申請まで—

日時

2022年 12月 17日(土)
14:00 ~ 16:00

場所 (対面とZOOMのハイブリッド)

同志社大学

良心館 RY202教室

およびzoom

講演者

清水 謙

(立教大学法学部兼任講師)



大阪外国語大学外国語学部地域文化学科中・北欧専攻スウェーデン語専攻卒業。東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻（国際関係論コース）博士課程単位取得満期退学。

専門は、スウェーデン政治外交史・国際関係論。

2022年5月にスウェーデンはNATOへ加盟を申請した。ロシアによるウクライナ侵攻によってスウェーデンを取り巻く安全保障環境が変わり、200年近く「中立」あるいは「軍事的非同盟」を貫いてきたスウェーデンは大きく政策転換したといわれる。しかし、これはそれほど急激な「歴史的転換」なのだろうか？近年の研究では、スウェーデンは冷戦期から米英をはじめとする西側諸国、そしてNATOと密接な軍事協力関係を構築していたことが明らかとなっている。スウェーデンはNATOのバルト海防衛を担う「隠れ加盟国」としての役割を一貫して果たしてきたことなど、本講演では「西側軍事協力」の発端や実態を描き出し、2022年のNATO加盟申請はこれまで秘密裏に行われてきた実態に合わせるプロセスであることを論じる。

申し込みはこちらから

2日前の12月15日（木）までにGoogle Form（以下リンクおよびQRコード）よりお申し込みください。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfNdhvwNV9YOBZI205J-dAktZbY93E30Levy7tGckyfzhQEmA/viewform?usp=sf_link

